

# YOKOHAMA SPORTS TOWN MANAGEMENT (素案)

学生がクラウドファンディングで  
地域社会へ新しい価値を生み出し  
未来を広げる  
7つの習慣プロジェクト

ELSA | 代表 岩崎 吉徳

## こんな事があれば！？



こんなものがあれば？

既にあるアイデア

なんとか〇〇ならないかな

◎◎には言っても変わらないんじゃないか

どうすればいい？

## ひとつの体育館で多様な使い方が出来る

- 多種目スポーツが出来るようにDesignされている
- 災害時等避難施設
- 選挙会場
- 講演会場
- コンサート会場(学園祭等)
- etc.

様々な用途に利活用可能



ひとつのグラウンドで多様なスポーツが楽しめるパラレル空間  
【テニス、バスケ、ハンドボールや新スポーツなど】  
そして多様な出会いとなる生涯学習施設



ひとつのコートでブラックライトなどの活用で  
ピックルボールやバトミントン、バレーボール  
なども出来る（番外編）



# 横浜市の状況

## 横浜市の状況

### ○人口減少の兆し



・直近(2022年1月1日)の人口は、  
377万2,029人と前年同期と比べて  
4,257人**減少**

・2021年中の人口動態※が前年から  
マイナスになったのは**戦後初めて**

※人口動態  
社会動態(一定期間における転入、転出等)と自然動態(一定期間に  
おける出生、死亡)を合わせた人口の動き

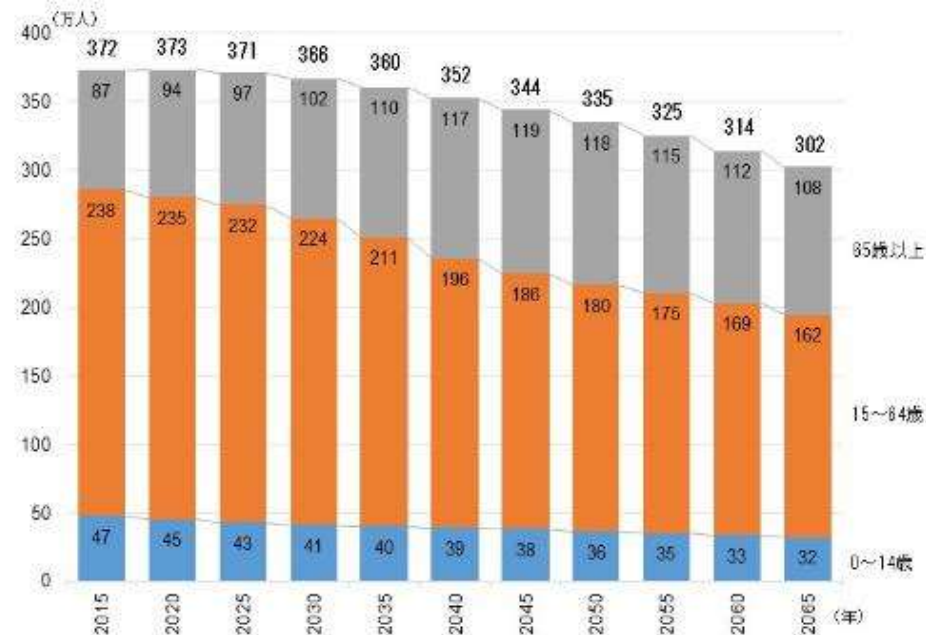


あうたびに、あたらしい  
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



10



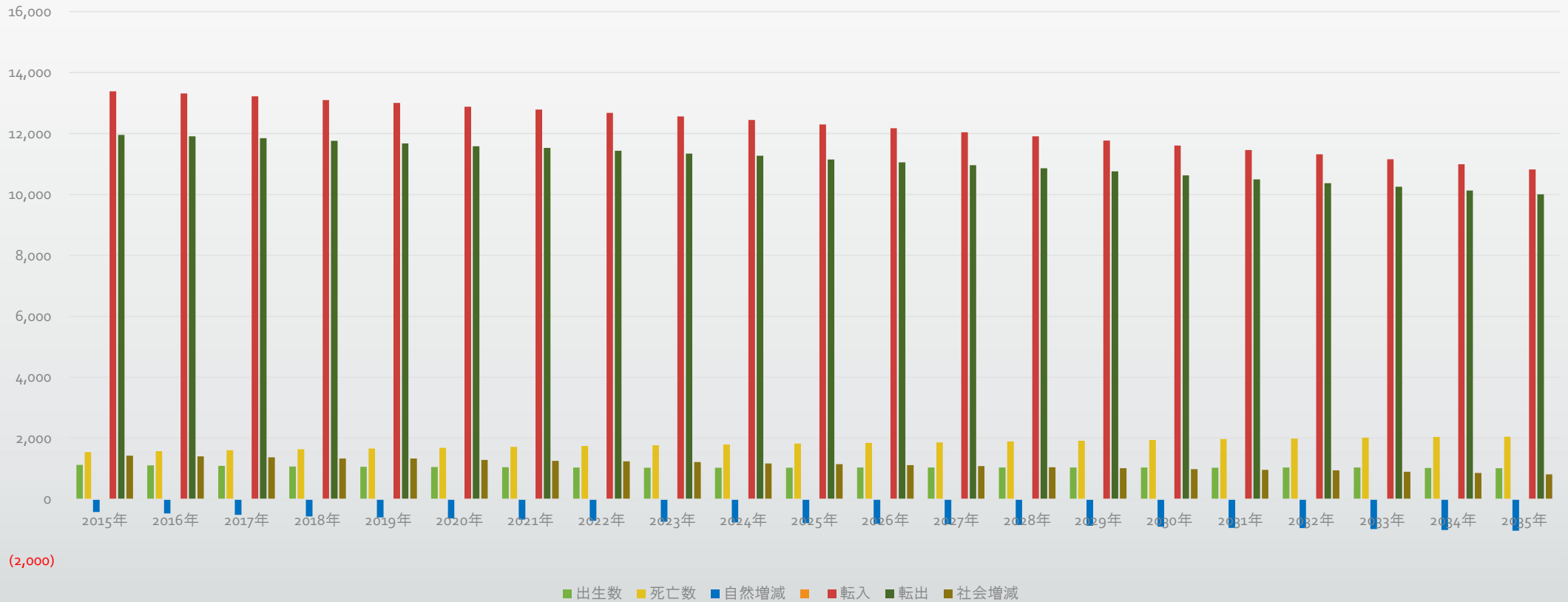
人口オーナス期に突入している

横浜市の人口推計値

出典: 横浜市

# 横浜市の状況

## 横浜市中区人口推計値

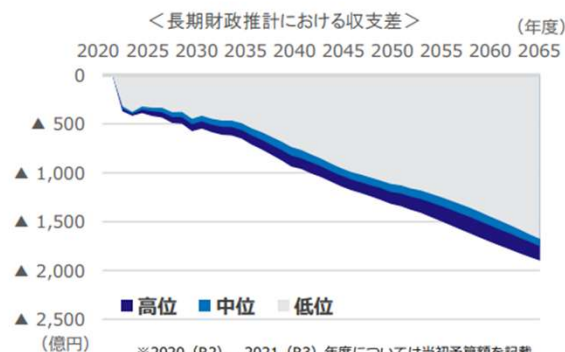


出典:横浜市

# 横浜市の状況

## 横浜市の状況

### ○収支差の拡大



	2030年度	2040年度	2050年度	2060年度	2065年度
高位	▲ 573	▲ 937	▲1,319	▲1,708	▲1,899
中位	▲ 502	▲ 823	▲1,195	▲1,540	▲1,752
低位	▲ 447	▲ 735	▲1,114	▲1,448	▲1,678

出典：「横浜市の長期財政推計（R4.1.28更新版）」

「長期財政推計」では、

- ・高齢化の進展  
⇒ **社会保障経費の増加**
- ・人口減少  
⇒ **市税収入の減少**

今後、各年度の**収支差が拡大し続ける見込み**

- ・ 益々増加する社会保障費 ↑
- ・ 予算配分の優先順位要検討
- ・ 不要不急への予算執行厳しい (事故発生時或いは軽微な事案発生時に対応)
- ・ 収支差が拡大傾向

必要な未来

- ・ 新産業創発
- ・ 人口増 (魅力的な街づくり)

あうたびに、あたらしい  
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

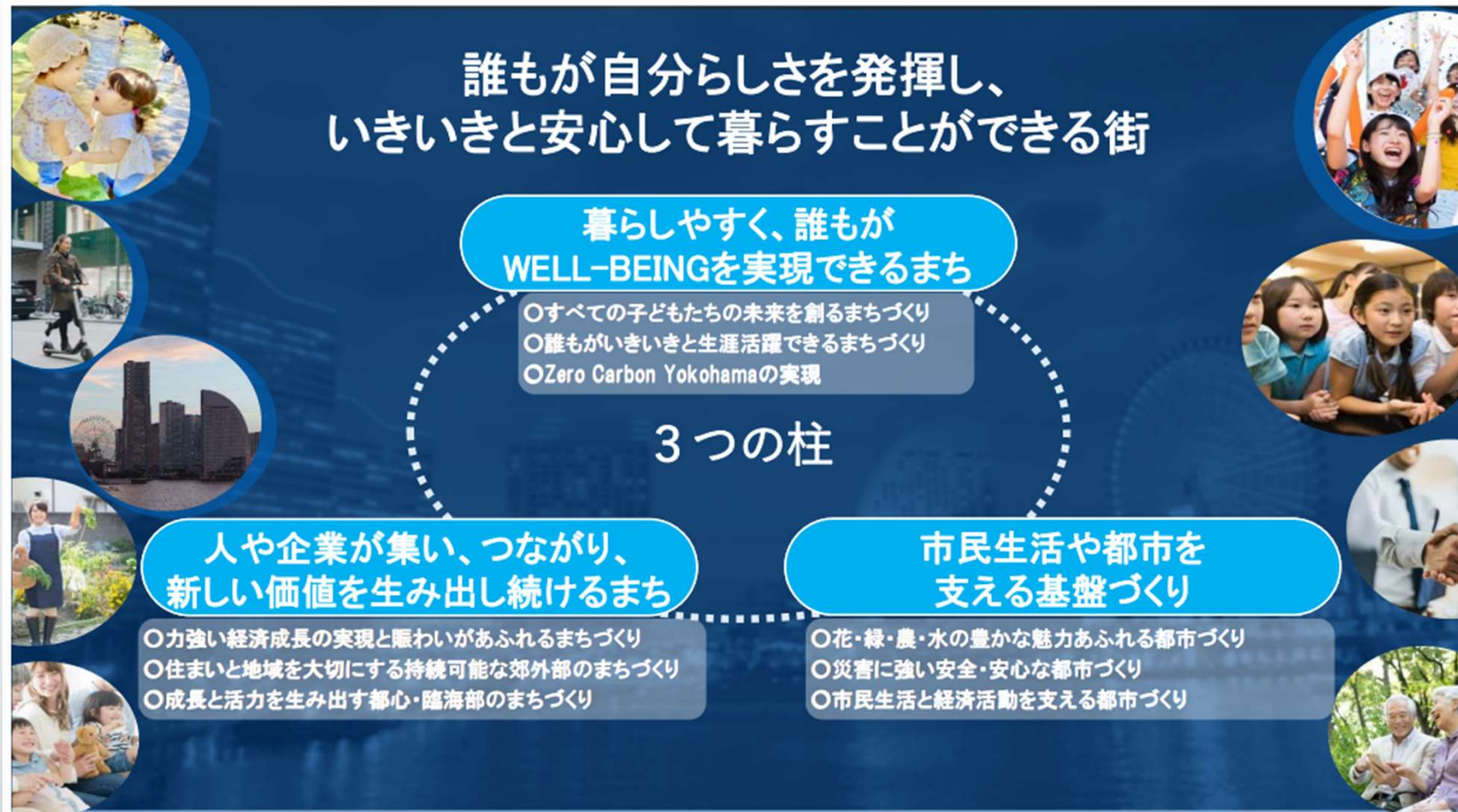


11

出典：横浜市



# 横浜市の状況（横浜市長会見資料より）



出典：横浜市

# 公立学校体育施設の開放状況

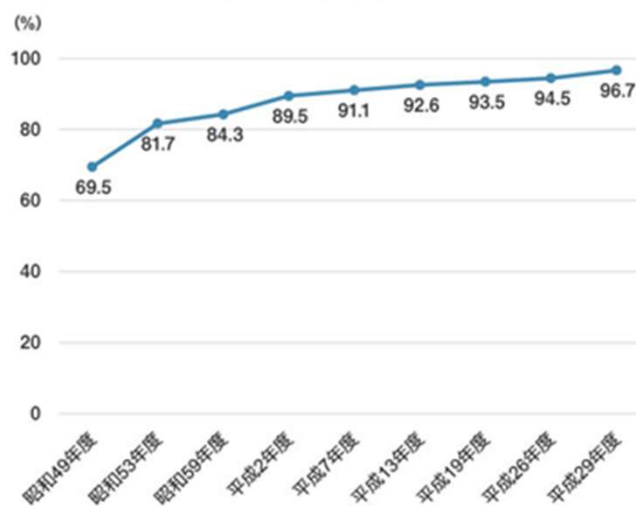
多くの施設は第2次ベビーブームの昭和40年代後半～50年代にかけて建築され、築年数は約50年を超える建築物となる

・築50年を超える建築物老朽化により建替えや大規模リニューアル等の実施計画(実施)が必要な経年である



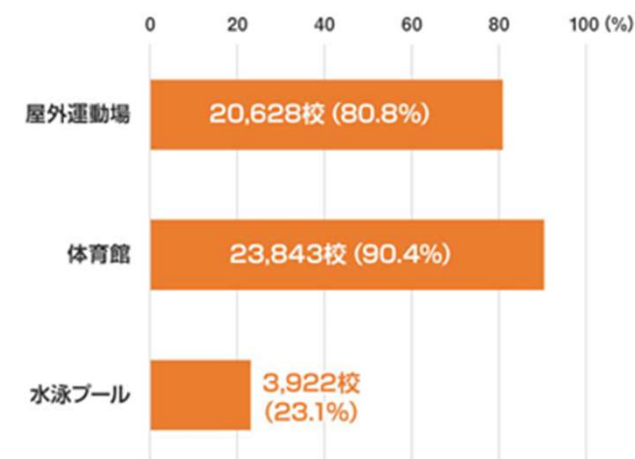
## 学校体育施設の開放状況

学校体育施設開放率の推移



※公立小中学校の体育館を対象として、開放事業実施率の推移を示している。

施設別の開放率 (平成29年度)



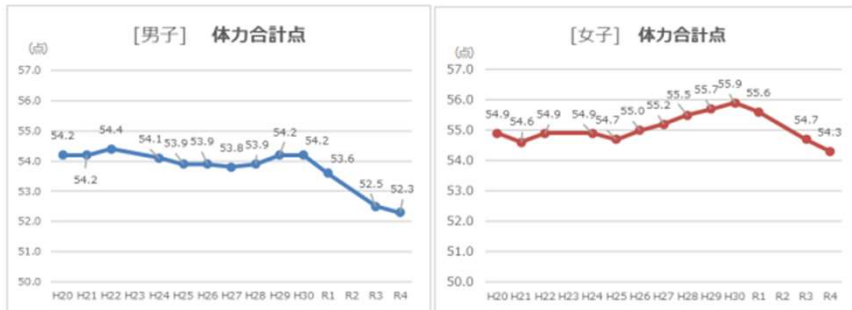
※公(組合立を含む)立小・中・高等学校を対象とする。

出典: スポーツ庁

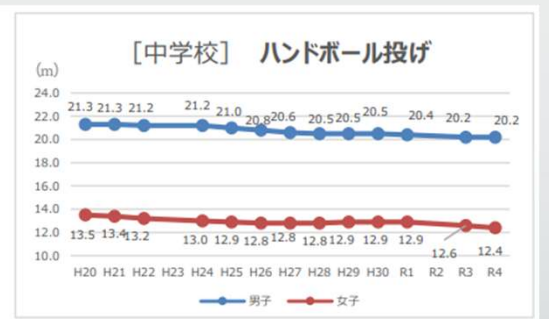
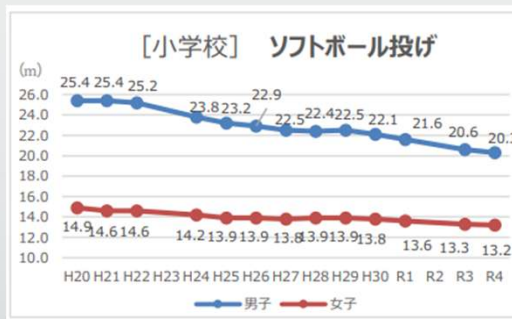
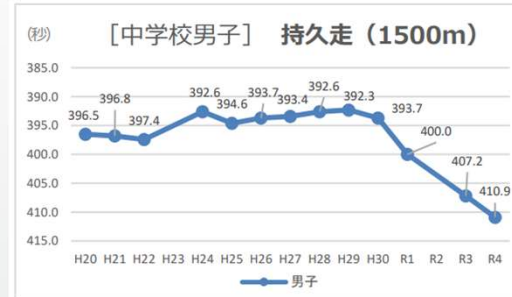
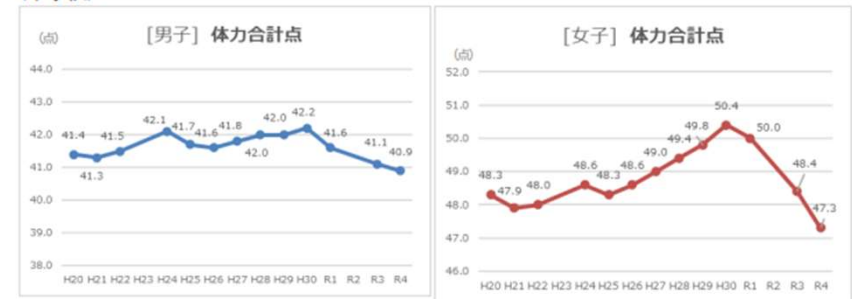
# 近年益々下がり続ける子供達の運動能力

体力合計点については、令和元年度調査から連続して小・中学校の男女ともに低下した。

(小学校)



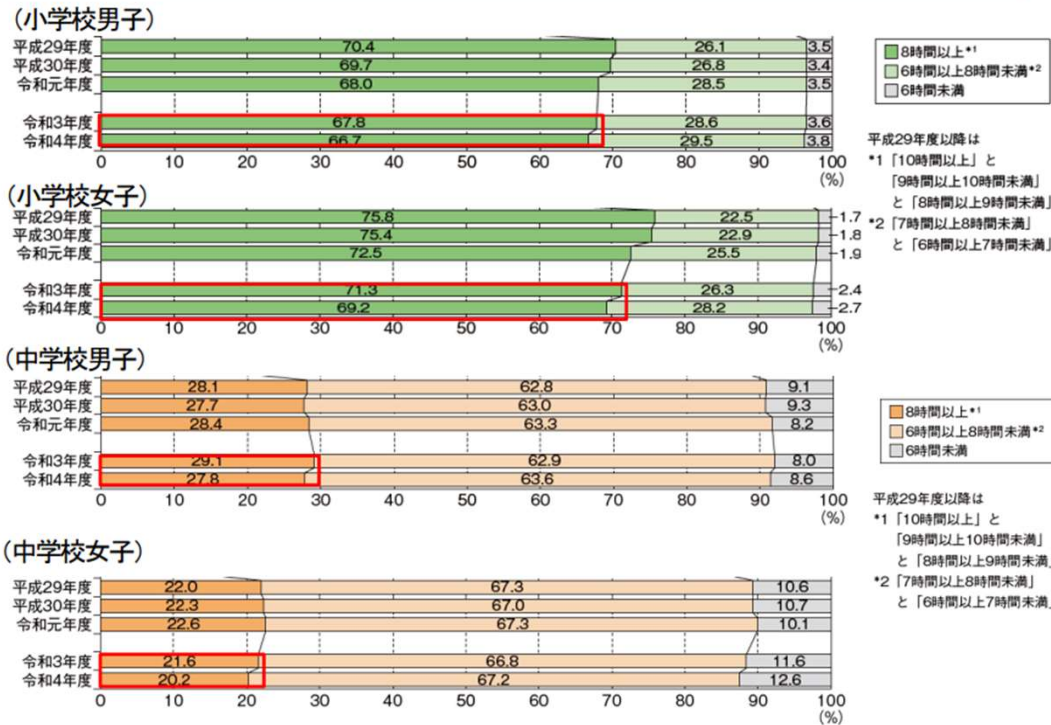
(中学校)



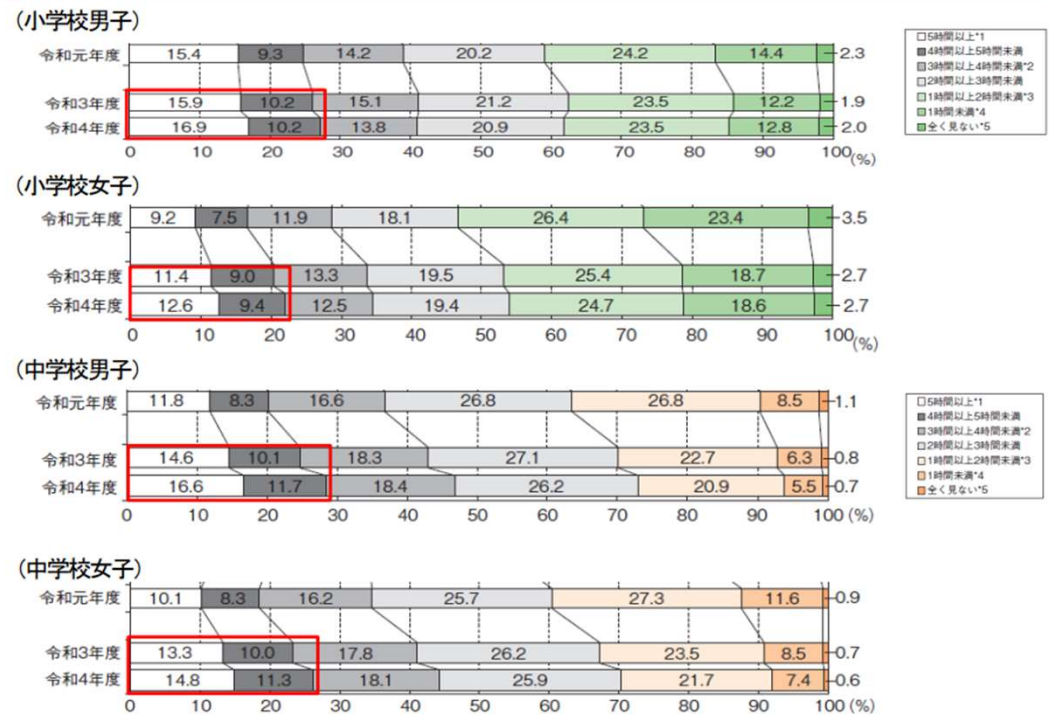
出典:スポーツ庁

# 子供達の睡眠時間・スクリーンタイム

睡眠時間は、「8時間以上」と回答した児童生徒の割合が、減少した。



学習以外のスクリーンタイムは、「4時間以上」と回答した児童生徒の割合が、増加した。



出典:スポーツ庁

## 生活環境や社会の価値変容

- 地域活性化には人の交流や若い力が必要不可欠  
⇒ 昨今、子供達の遊ぶ場がネットの世界(ゲーム)や、家で過ごす事が多く、リアルな出会いの場が少ない。  
⇒ コミュニケーションスキルやレジリエンスの醸成、体力等にも影響
- 50年前の公園より〇〇禁止が多く、制限や遊ぶ場所のすみ分けが進み、運動能力の低下の要因とも言われている。
- 子供達の遊ぶ場所や学びの場が、安全安心快適 +  $\alpha$  の民間有料施設で過ごすことになり、子育て費用も増加傾向。  
(ビックカップル世帯が押し上げる教育費用増の影響もあり)



# 横浜市民（産学官民）の力でより良くした未来



**暮らしやすく、誰もがWELL-BEING  
を実現できるまち**

- すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
- 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
- Zero Carbon Yokohamaの実現

出典：横浜市

# 例えば) 学校施設の特徴を各々活かし公共財を有効活用

例えば？

横浜市中区の状況

インターナショナルスクール

私立:小・中・高・大学

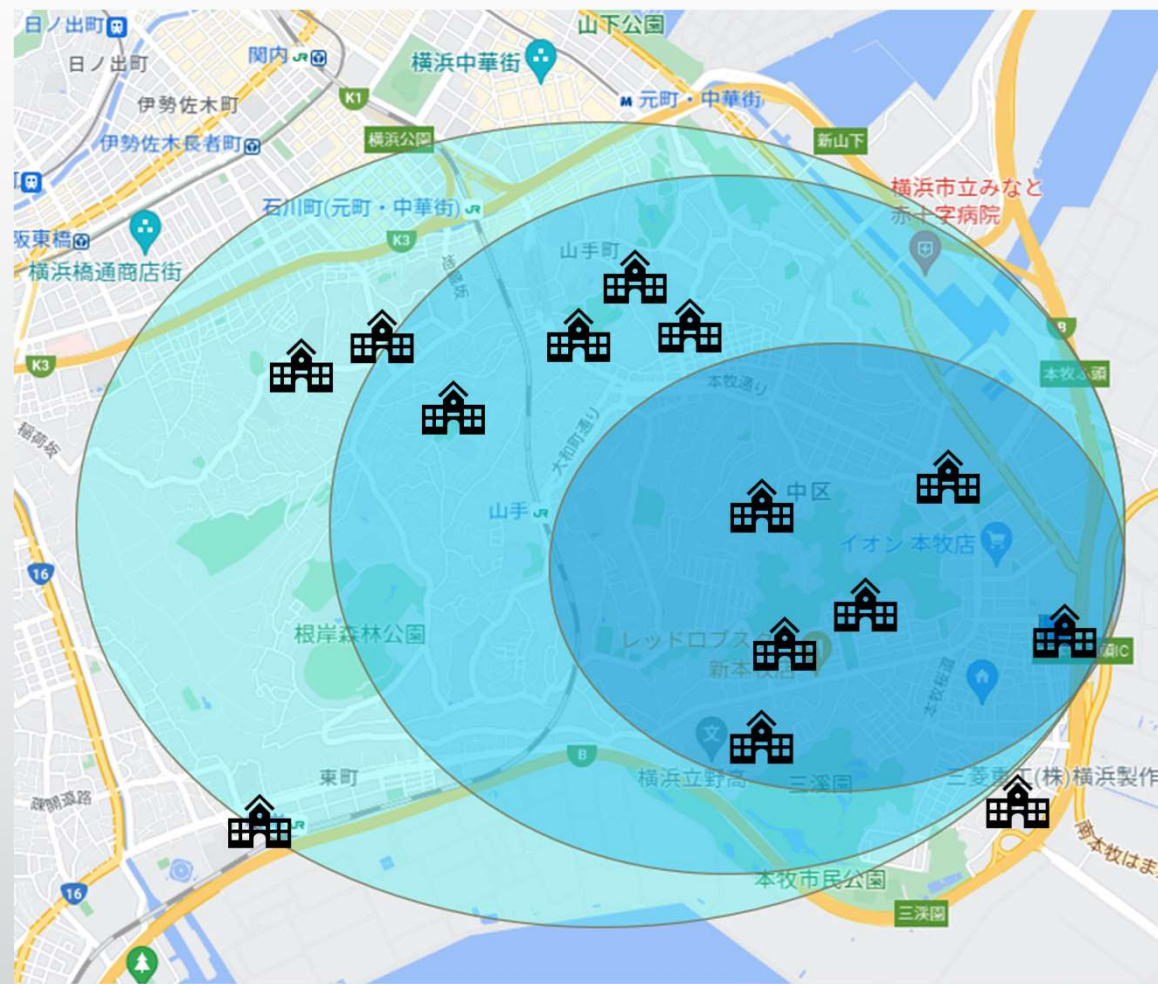
公立:小・中・高

閑静な住宅街でもあり

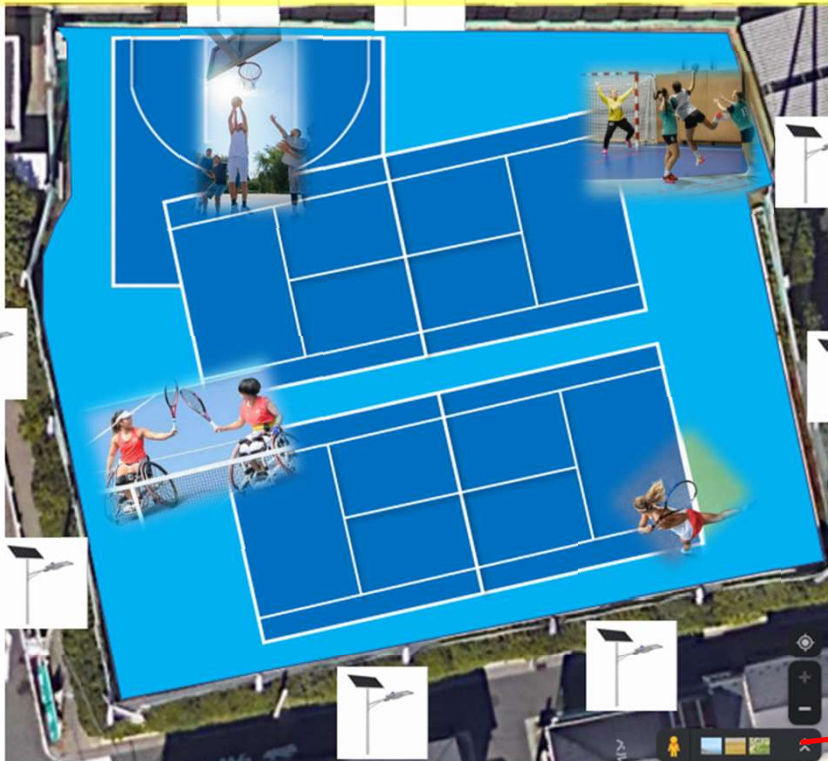
国際交流も盛んな街

風の時代の文明開化の音は

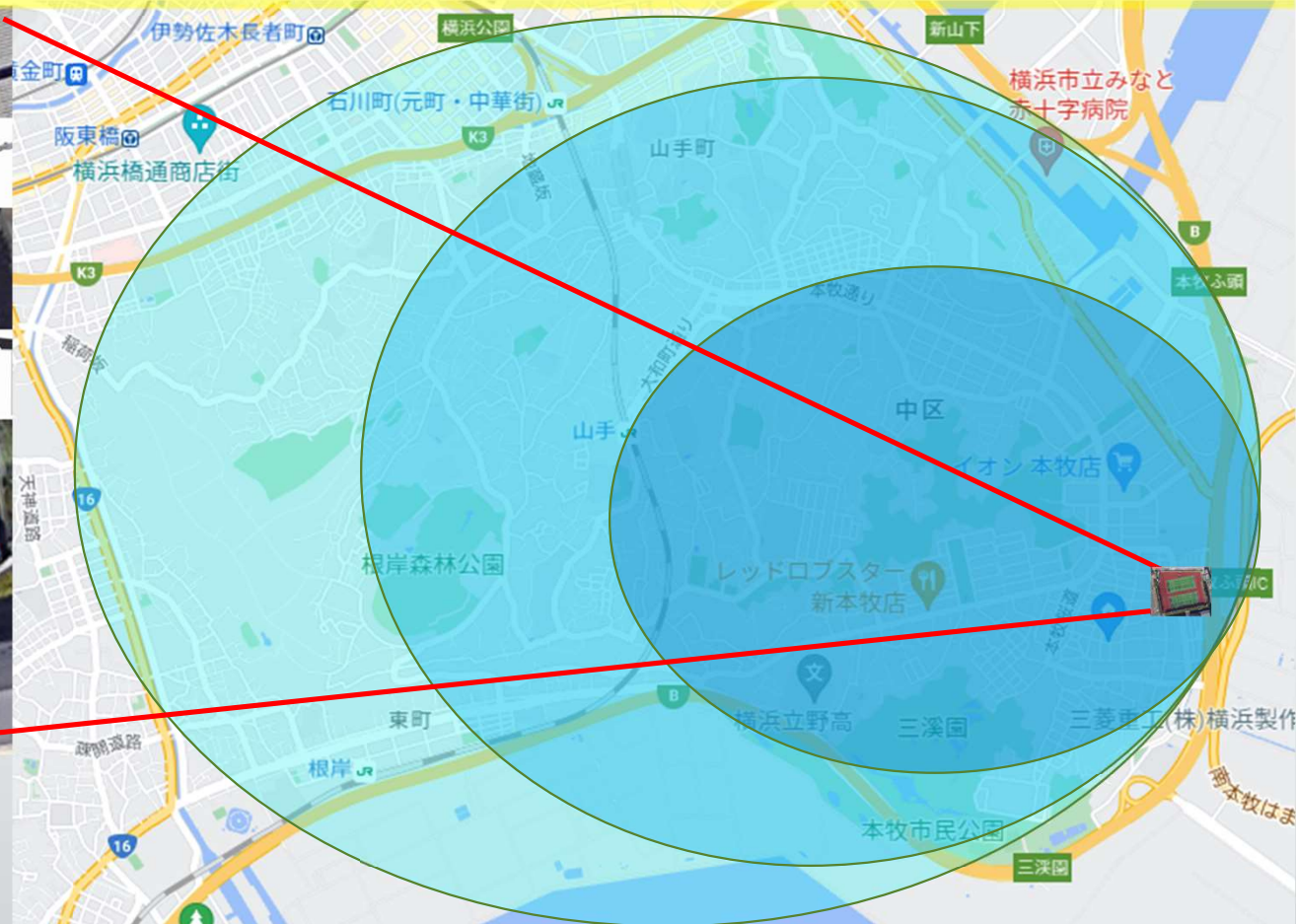
港町横浜から！



地域の人達が集う新たなスポーツコミュニティが誕生したらきっと素敵な出会いやアイデアも増える



例えば●学校の屋外施設(テニスコートなど)を多種目出来るコートにリニューアルしてみた場合





# 横浜市の状況（例：部活動改革）

例えば)コートリニューアルで

- 部活動改革の拠点校になりえる
- 公共財の有効活用になる
- 施設仕様のグレードUPにより優秀な人材などが集まりやすくなり、シナジー効果が期待できる
- 上記同様、学生のモチベーションアップや成長思考をサポートしやすくなる
- 車椅子(テニス)の方でも利用がしやすくなり誰もが生活しやすく、ダイバシティ教育にも貢献(インクルーシブ教育)
- 横浜で国際大会などを開催した際、世界のトップレベルの選手がチャリティ・ボランティアレベルで練習会場として使うことが●協会などが斡旋出来れば、世界トップレベルのパフォーマンスを子供達が目の前で体験出来る
- 第3期:横浜市スポーツ推進計画にも合致

(休日の地域部活動を推進する拠点校(地域)の整備)

- 休日の地域部活動の実現に向けた取組を総合的に推進するため、各都道府県に拠点校(地域)を設け、国として拠点校(地域)における実践研究を実施する。併せて、その成果を他の学校に横展開することにより、全国のすべての学校において、休日の部活動における教師の負担軽減を計画的に実現する。なお、拠点校(地域)を含め、早期に地域移行が可能な学校(地域)においては、速やかに休日の地域部活動の実現に向けた取組を進める。

## 2. 合理的で効率的な部活動の推進

(合同部活動の推進)

- 地域の実情を踏まえ、特に少子化の影響が大きい過疎地域においては、地方自治体の判断に基づき、市町村を越えた他校との合同部活動を推進するとともに、都市部においては、市内の近隣校との「拠点校方式」による合同部活動を推進する事業を実施する。その際、地理的な課題が生じるが、ICTを活用することで、生徒が移動することなく指導を受けたり、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるよう実践研究を推進する。

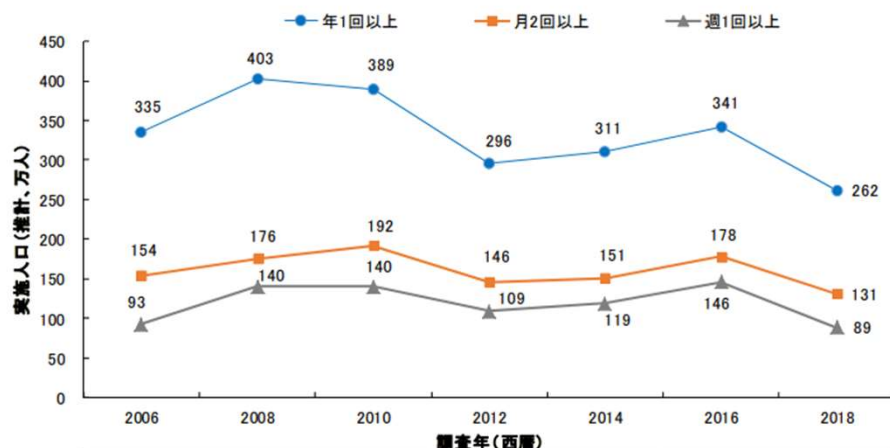
# 多世代・国際人材 & 部活動合同練習会イメージ



# (参考)テニス人口推移

出典：日本テニス協会

図表 1-3-1：成人のテニス人口の推移



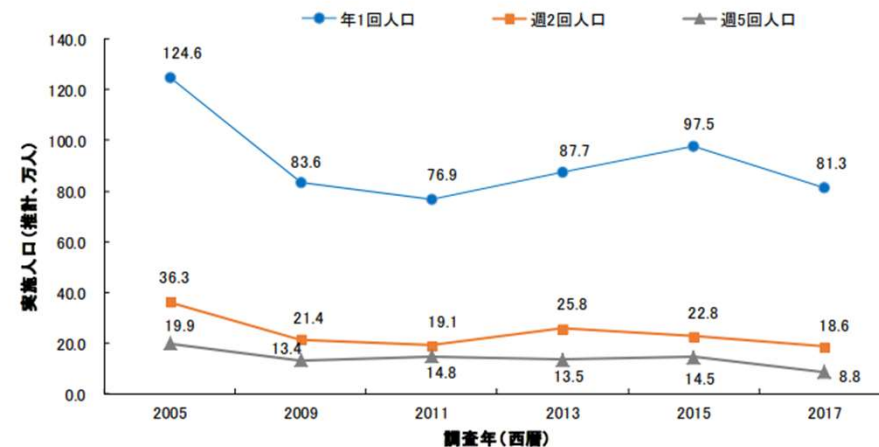
		2006	2008	2010	2012	2014	2016	2018
実施頻度 (%)	年1回以上	3.3	3.9	3.8	2.9	3.0	3.3	2.5
	月2回以上	1.5	1.7	1.9	1.4	1.5	1.7	1.3
	週1回以上	0.9	1.4	1.4	1.1	1.2	1.4	0.9
住民基本台帳の20歳以上人口(人)		102,636,961	103,387,474	103,824,522	103,973,831	103,811,681	103,888,078	103,708,284

注1)図の人口は住民基本台帳の成人人口に実施率を乗じて算出

注2)「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。

笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」(2006～2018)より作成

図表 1-3-2：10代のテニス人口の推移



		2005	2009	2011	2013	2015	2017
実施頻度 (%)	年1回以上	9.7	6.9	6.4	7.4	8.2	7.0
	週2回以上	2.8	2.0	1.6	2.2	1.9	1.6
	週5回以上	1.6	1.3	1.2	1.1	1.2	0.8
10代人口		12,856,314	12,143,089	12,004,534	11,920,393	11,836,576	11,590,110

注1)図の人口は住民基本台帳の青少年(10代)人口に実施率を乗じて算出

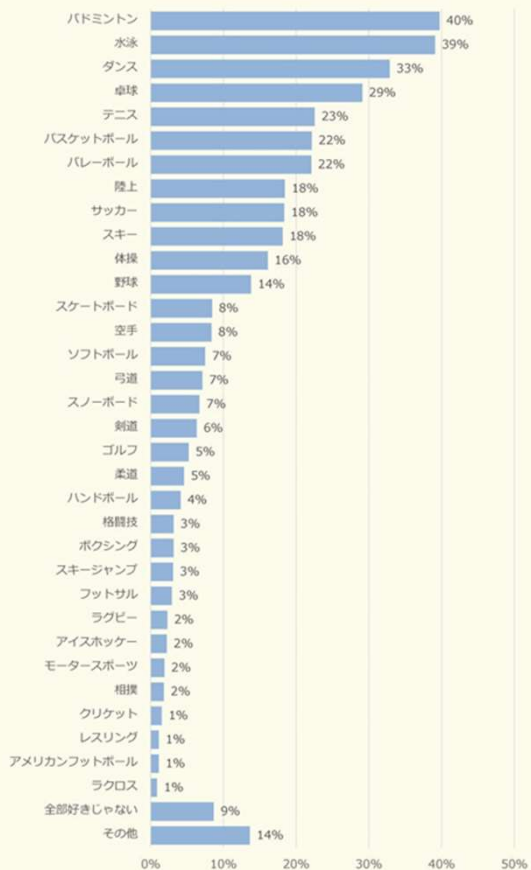
注2)「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。

笹川スポーツ財団「10代の運動・スポーツ活動に関する全国調査」(2005～2017)より作成

※テニスはどの年代でも楽しむことが出来る生涯スポーツとしてのニーズもある。テニス人口は一定程度の推移を保つことは可能と考えられる。又、我が国のテニス発祥の地でもある横浜市中区は関係団体含めそれ相応の複合的な期待効果・施策等の後押しはあるものと思われる。

# (参考)小中学生が好きなスポーツ

小中学生クラブ



出典:ニフティキッズ

上位7競技は全て  
6人以下のスポーツ

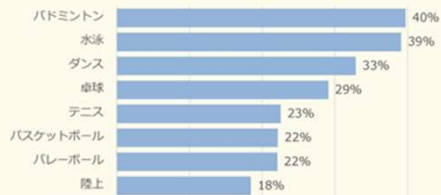


上位7競技は比較的  
始めやすいスポーツとも  
捉えられる



## (参考)小中学生が好きなスポーツ

小中学生クラブ



生涯学習拠点でも学校公共財を有効活用するには、ニーズのあるものや、フレキシブルに対応出来るものが良いと考えられる。  
オールウェザーコート仕様へのリニューアル

### メリット

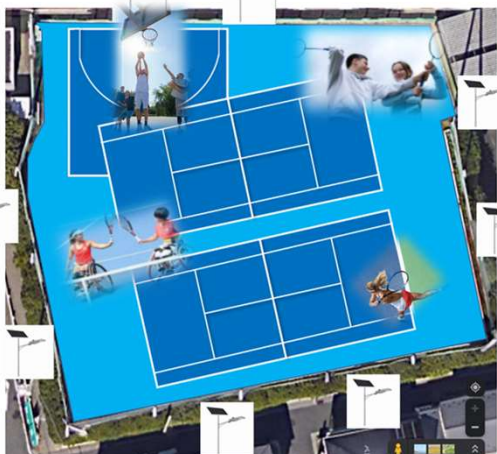
- 地域住民(子供達)のニーズにも応えられる  
※休日の公営テニスコート稼働率は高いが、逆に学校施設の利用率は低い
- 部活動改革の拠点校に成り得る
- 利用者にとっては、国際的にも一般的なオールウェザーコート(テニスなど)は国内育成選手と同環境となることで、高いモチベーション効果も期待出来る
- 公共財の有効活用になる
- 多様な出会いが生まれ、新しい価値創造の醸成に繋がる(新スポーツが文明開化の横浜から生まれ世界へ発信出来るかもしれない)
- 子供達の運動能力低下に一定程度の歯止め効果を期待できる
- ダイバシティインクルージョン(多様性の受容)、インクルーシブ教育にも貢献

## 例えば部活動改革の拠点校になったら

公共財である学校のテニスコートをリニューアル(オールウェザーコート)整備して、部活動改革の拠点校にした場合の複合期待効果

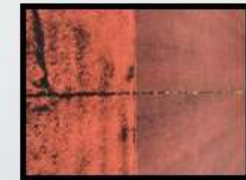
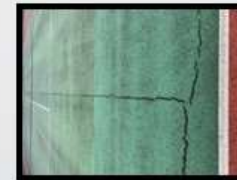
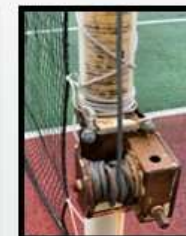
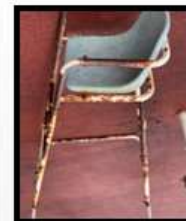
### メリット

- 他校との生徒同士の交流促進(多様性)
- 保護者間の新たな交流(サードプレイスとしての利活用)
- 生徒のモチベーションアップ
- 生徒の運動能力向上、自己肯定感の醸成
- 多種目スポーツに触れることでのアイデアの創発(文明開化の横浜から新たなスポーツが世界へ発信出来るかも?)
- 運動習慣の増加に伴い健康寿命の促進=社会福祉予算の軽減など



# 現状リスク

## 現状のテニスコート



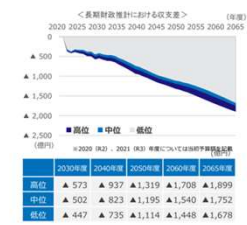
各所クラック発生  
防球フェンスやネットの劣化  
排水溝閉塞  
老朽化が顕著な状態



# 現状リスク

## 横浜市の状況

### 〇収支差の拡大



「長期財政推計」では、  
 ・高齢化の進展  
 ⇒ **社会保障経費の増加**  
 ・人口減少  
 ⇒ **市税収入の減少**

今後、各年度の収支差が  
**拡大し続ける見込み**

あつたに、あたらしい  
 First Year YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

益々増加する社会保障費  
 予算配分の優位性の検討  
 不要不急への予算執行無  
 (事故発生時或いは軽微な事案発  
 生時に対応)  
 事後対応により計画性が中々難し  
 い

出典：横浜市

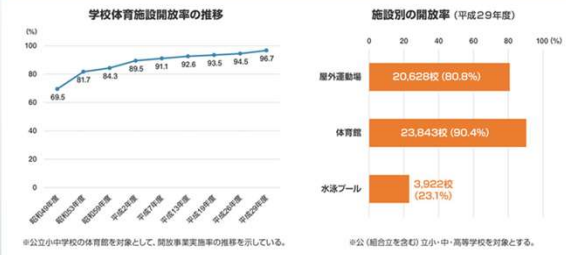
## 公立学校体育施設の開放状況

多くの施設は第2次  
 ベビーブームの  
 昭和40年代後半～50年代  
 にかけて建築され、  
 築年数は約50年を超える  
 建築物となる

・築50年を超える建築物  
 老朽化により建替えや  
 大規模リニューアル等の  
 実施計画が必要な経年であ  
 る



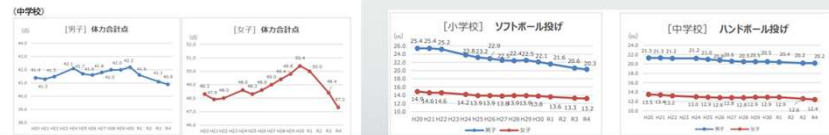
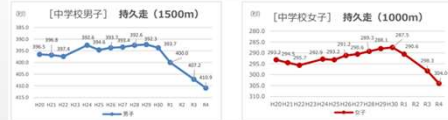
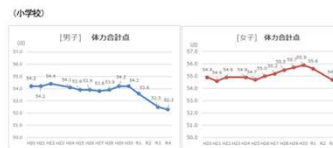
### 学校体育施設の開放状況



出典：スポーツ庁

## 近年益々下がり続ける子供達の運動能力

体力合計点については、令和元年度調査から連続して小・中学校の男女ともに低下した。



出典：スポーツ庁



出典：読売新聞



出典：FNNオンライン



# 現状リスク

2023年7月:とあるニュースで報道された一幕

対象校舎の状況【校舎の雨漏れや塗装剥離など老朽化が著しい】

- 校長コメント:市には2020年度から修繕の要望を出している。雨漏りは年々ひどくなっている。
- 市教育委員会コメント:  
久喜中の大規模修繕は未定。  
雨漏りは補正予算を組んで対応する。



• その時の『生徒の衝撃過ぎるコメント』

# 現状リスク

2023年7月:とあるニュースで報道された一幕

対象校舎の状況【校舎の雨漏れや塗装剥離など老朽化が著しい】

- 校長コメント:市には2020年度から修繕の要望を出している。  
雨漏りは年々ひどくなっている。
- 市教育委員会コメント:  
久喜中の大規模修繕は未定。  
雨漏りは補正予算を組んで対応する。



• 生徒の衝撃過ぎるコメント

生徒のコメント:

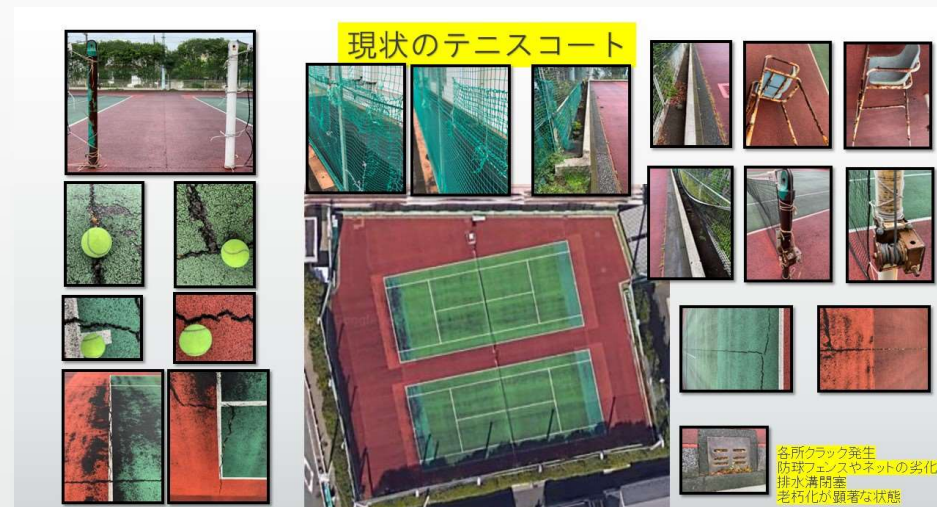
『こんな環境にも慣れるから大丈夫ですよ。』

と言った趣旨の言葉を生徒が発していた。  
確かに人間は環境に適応し慣れる特性はあるものの、、、。

# 現状リスク

## 某学校のテニスコート

- コートの老朽化が顕著
- クラック発生や表層材劣化により粒状物質が散乱し土のコートより滑り易い(危険)
- 周囲の防球フェンスの支柱劣化(錆びて床に固定されておらず宙に浮いている状態)
- 劣化したベンチは22年度末撤去、審判台は使用禁止中
- 周囲の植栽エリアは手つかず状態(蚊などの繁殖、雑草に手を触れることを嫌がる生徒が多数。同エリアにボールが入るとボールが汚れ、コートも汚れる。テニスラケットのグリップテープの効力も汚れにより落ち、ラケットを放り投げてしまうリスクが極めて高いなど)
- 一部の排水溝詰まりは長年放置されたまま
- 通路他エリア間との防球ネットは未補修状態(穴が開いてる)
- 生徒や教職員も現状が当たり前と思い、環境になれてしまっている。何を言っても変わらない。
- 当該コートを利用してる生徒が対外試合(遠征)で他校の土のコートや砂入り人工芝コートを体験しても、自分達のコート環境との比較や環境への意識教育が不十分(現状に慣れ過ぎてる)

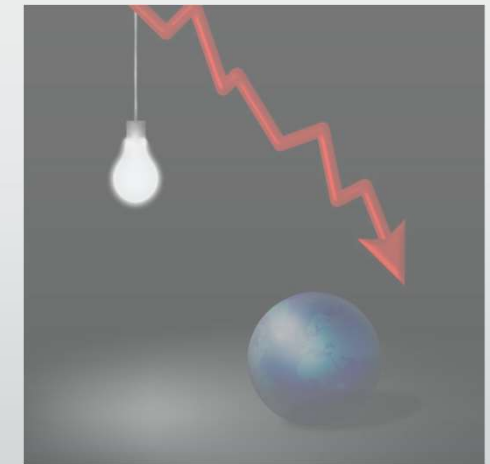
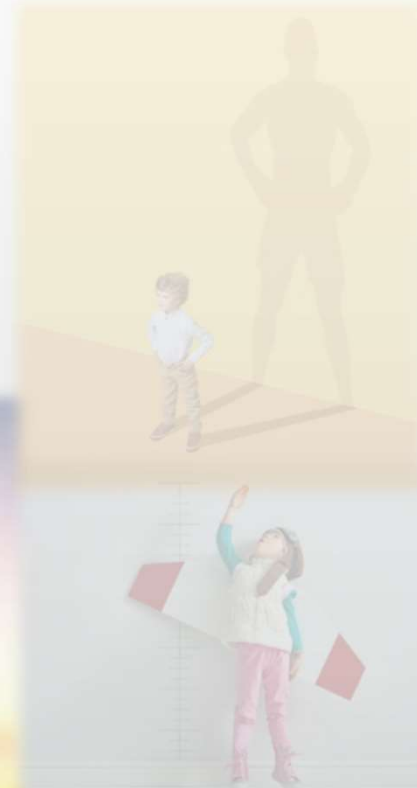


人間という動物は環境に適応する生物であるが、  
良い環境に慣れるのと  
悪い環境に慣れるのとでは  
天と地ほどの差が生れる(格差)  
※事実を知る学ぶ必要は有

# 現状リスク

悪い環境に慣れ過ぎると、**失われる未来が大き過ぎる**

- 当たり前になる
- 現状維持思考に陥り易い
- (生徒)自己肯定感の醸成にマイナス
- 気付きや変化への対応力が乏しいままになる
- 変化を創りだせる人材創発に程遠い
- 国際競争力の優位性(人的資源)が剥落



## 現状/地域の人達に支えられている

学校部活動は地域の人達に支えられている

- テニス部のボールは地域の人達から寄付されている
- テニス部所属の保護者による寄付
- 日本テニス協会所属の方からの寄付  
(個人的に通っているテニススクールの廃棄処分用のボールを学校まで届け寄付)
- 部活動指導員は近所の方に支えられている

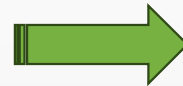


# 課題解決

## 【現 状】

- 限られた税収で必要な修繕は行う
- 人命など即座に影響の無いものへの予算配分は厳しい状況
- 人口オーナス期に入ってる現在では、税収が飛躍的に伸ばせるかは不透明
- 益々増える社会保障費
- 教育活動の一環で行う意義とは

例)テニスコートは現状使えない事はない  
大きな事故は起きていない。  
某学校は他校の土のコートと比べれば遥かに好環境  
(リスクは有り)



## 【課題解決手段】

- 市民による行政側への嘆願  
例)・スケボーパーク  
・某学校グラウンドの照明設備新設  
➡行政或いは教育委員会判断による投資  
  
➡現状は相当程度厳しい
- クラウドファンディング活用  
(投資型、購入型、寄付型)





# クラウドファンディング（資金調達概略）



プロジェクト

## 投資型

商店や企業などの成長を前提として、成長後のリターンを約束するという形式

## 購入型

既存または将来的に完成する商品の購入代金として資金を集める形式

## 寄付型

リターンを前提とせずに、文字通り寄付形式

## 購入型

- ・ 支援者はお返しとしてモノやサービス、権利などを受取る。
- ・ Pjが学生主体の場合「PR」や「労働力の提供」などがリターンに成り得る

例)「学園祭で企業をPRする」、「SNSで情報発信協力」、「企業の研究を手伝う」など

どのようなリターンも「学生による」という点が企業にとって大きなメリットとなる

特に学生向けのサービスを展開している企業にとっては、学生にセグメントを絞って情報発信できることは確度が高いため、資金提供をするに値するほど十分なメリット有

## 寄付型

- ・ 「本人・団体・プロジェクトを応援すること」自体が目的となったり、社会的な責任を果たすことなどがある
- ・ 企業は寄付を行うことでCSR活動の一環となる
- ・ 寄付を行うことで節税出来る など



## クラウドファンディング（比較表例）

サイト名	特徴	手数料	審査基準	実績
<a href="#">レディフォー</a>	社会貢献・地域活性化などのプロジェクトに特化	成功報酬型：10% (クレジットカード決済の場合＋3.6%)	審査あり (プロジェクト内容、リターン内容、達成可能性などを基準に判断)	2021年末時点で累計13億円以上の支援額
<a href="#">キャンプファイヤー</a>	広いジャンルのプロジェクトに対応	成功報酬型：10% (クレジットカード決済の場合＋3.6%)	審査あり (プロジェクト内容、リターン内容、達成可能性などを基準に判断)	2017年のプロジェクト「闇金ドッグス」で約4.5億円の支援を集めた
<a href="#">マクアケ</a>	テクノロジー・クリエイティブなプロジェクトに特化	成功報酬型：9% (クレジットカード決済の場合＋3.6%)	審査あり (プロジェクト内容、リターン内容、達成可能性などを基準に判断)	2021年までに1万件以上のプロジェクトが立ち上がり、累計支援額は約30億円を超える
<a href="#">キビダンゴ</a>	地域・社会貢献に特化	成功報酬型：10% (クレジットカード決済の場合＋3.6%)	審査あり (プロジェクト内容、リターン内容、達成可能性などを基準に判断)	2018年には北海道胆振東部地震の復興支援プロジェクトで約1.2億円を集めた
<a href="#">クラウドファンディングサイト26選を種類別に比較【一覧表あり】(utilly.jp)</a>		補足) 本プロジェクト主体者である学生にて、クラウドファンディングの仕組みや各企業の特徴等を比較検討を行い、採用企業を選定する流れを想定		

# 参考) クラウドファンディングプロジェクトの流れ



出典：CAMPFIRE

# クラウドファンディング活用について

## 【メリット】

- 社会課題の解決になる
- 横浜市が掲げる市政運営の一助となる(市政運営費＝市民)
- 財政有効活用
- 学生主体で進めることにより、学生自らが社会と接する意義やアントレプレナーシップ教育の一環となる
- 成功時、全国の自治体などへの好事例としてアピール可能  
※税制面でも国の後押しが更に広がる可能性も期待出来る  
(税制改革・富の再分配 など)



## 【デメリット】

- 行動しないデメリットの方が大きい →そもそも何も始まっていない
- 熱量ある学生確保が困難  
→確保出来なかった場合、今回プロジェクトは保留(延期)／中止
- 教育委員会の資産管理制度など調整確認が必要  
→仕事が増える
- クラファンで資金調達未達  
→プロジェクト保留(延期)／中止



# (現場) 運営サイドは待ったなしの状況

- 部活動改革が待ったなしで進行中**  
単に拠点校を決めても、効率化になるが生産性は変わらない  
生徒(保護者)は学校部活動レベルより、地域クラブへの所属傾向が強まっている。  
(野球、バスケ、サッカーなど)
- 公共施設(学校)の老朽化対策が全国的に発生する時期。大規模修繕などが急務**  
**★現状維持のための事後保全は逆にコスト増**
- 予算投入が困難であるからこそ、知恵とアイデアを持って革新的な取組をした方が道は切り拓ける**  
 大人が子供に切り拓く姿を見せることで、次世代へバトンタッチ出来るのではないのでしょうか。
- 景況感が比較的堅調な時期に実施した方が支援金も集まり易い

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュールについて

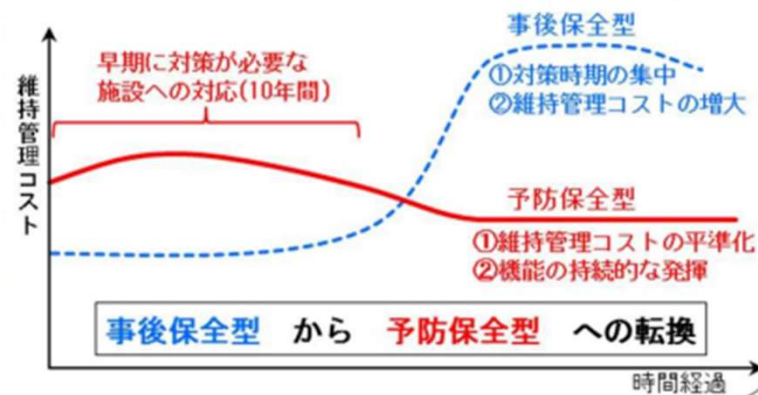


## (現場) 運営サイドは待ったなしの状況

### 戦略的な維持管理《事後保全型から予防保全型への転換》

①早期に対策が必要な施設の補修等を実施するため、初期に費用はかかるが、その後は予防保全型の維持管理により予算が平準化。

②将来的に補修等の時期が集中せず、適切な維持管理が可能となることで、施設の機能が持続的に発揮。



- 建築物における事後保全(クラッシュメンテ)について(上図参照)
- 長期的には圧倒的にコストがかかる
- 修繕時期が集中し人的負担や運営面での負担がかかる
- 国全体の建設ラッシュ時期が概ね高度経済成長時期集中し、各インフラ設備の老朽化対策や大規模リニューアル、スクラップアンドビルド方式など何れも建設業界への負担が集中する(コスト増)。
- 又、建設業界の労働人口も減少傾向(産業構造の変化)にあり、ダブルパンチ状態

## 全国のクラウドファンディング取組事例

- 4つのプロジェクトで目標金額を達成した『つくば市事業者応援チケット委員会』が語る成功への道のり(つくば市)
- 金沢市民サッカー場再整備プロジェクト ～新サッカー場を「みんなのホームスタジアム」に～(金沢市)
- 「小さな学校だって文化・スポーツ活動がしたい！」を実現する(つくば市/荃崎中学校長)
- 日本初の「クラウドファンディング学習」で中学生が学んだこと(和歌山県立日高附属中学3年)
- 地域活性化プロジェクトー未来を創る富高応援隊ー(宮崎県立富島高等学校)
- 桜プロジェクト～サクラと城下町高田を中学生が結びたい～ (上越教育大学附属中学校)
- 中学校がクラウドファンディング!?その理由とは?
- 飯田中学校りんご並木のプレートを更新したい! ～70周年の並木をより美しく～
- 町小の周年行事を盛り上げ隊プロジェクト! (小学校PTA)
- 築74年、木造校舎の活動拠点が老朽化。雨漏りや屋根修繕のご支援を (NPO法人)
- 古都・鎌倉から世界へと繋がる「みんなのスタジアム」を作ろう! etc.



## 現状維持に伴う失われる未来

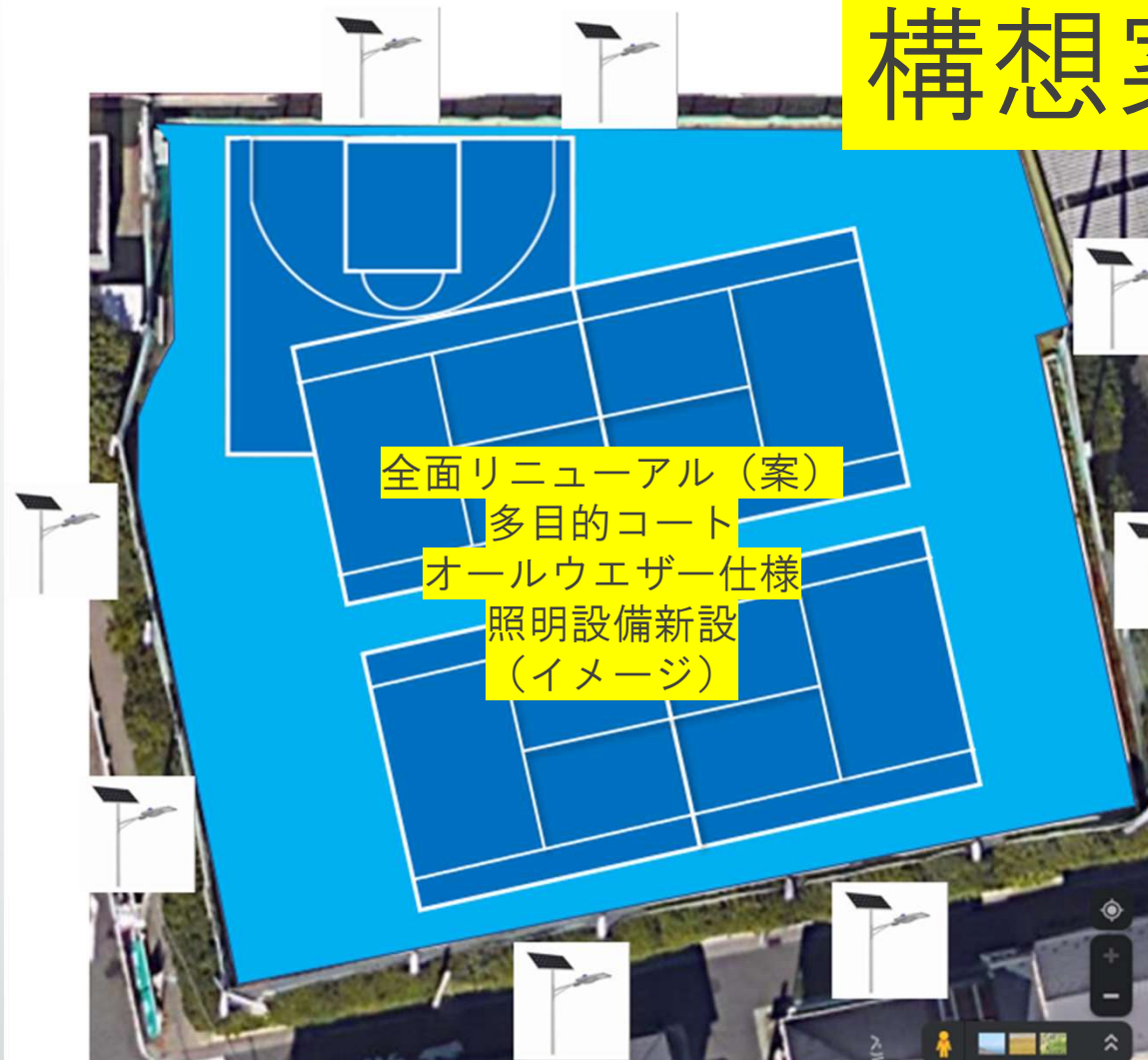


# 7つの習慣プロジェクト概要

中高生等が主体となってクラウドファンディング（以下、クラファン）  
を活用し、学校施設をリニューアル。  
自らの成長と地域社会への貢献を行うストーリー



# 構想案



## 【横浜市中区はテニス発祥の地の利が有】

中区近辺でもテニスコートは民間含め数多く存在し、私立学校内でも公式試合も出来るコートも整備されている好環境。

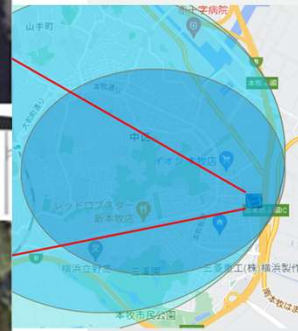
某中学校は中区近辺の公立学校でも恵まれたテニスコートがある。  
※他校は土やコンクリ或いは1面コート等

## 【某学校テニスコートの現状】

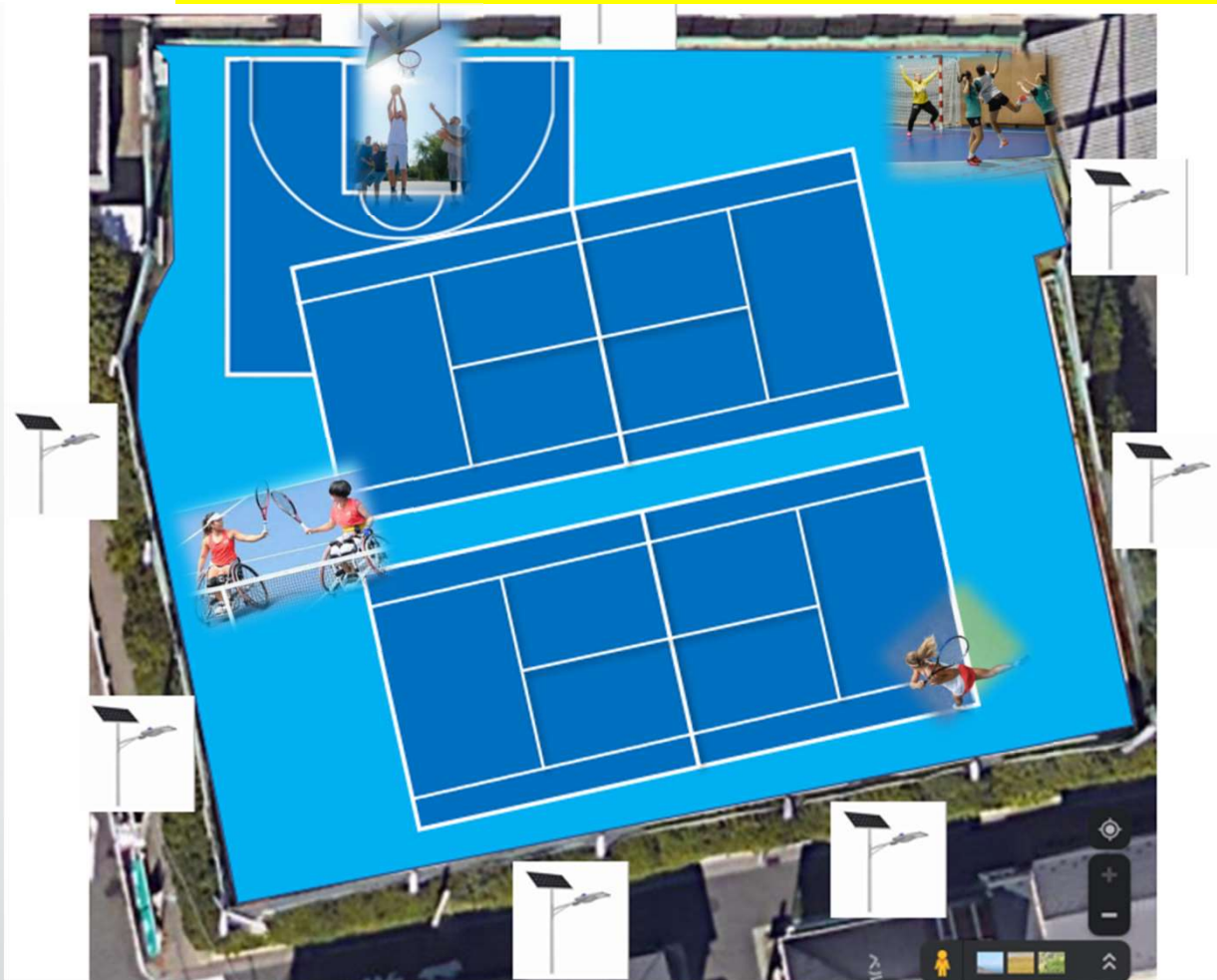
- ・コートやポール劣化顕著(凹凸、ヒビ割等)
- ・コート仕様が滑り易く、大変危険
- ・夜間利用時は照明設備が無く使えない

## 【部活動改革の一步】

- ・コートを多目的コートへリニューアル
- ・公費の効率的な投入
- ・将来的な老後施設化の福祉利用
- ・官民連携による取組  
資金調達案)クラウドファンディング活用



## 仮) 中高生等がクラウドファンディングで実施する場合



### 【超概略ステップ:主体的に学生が進める】

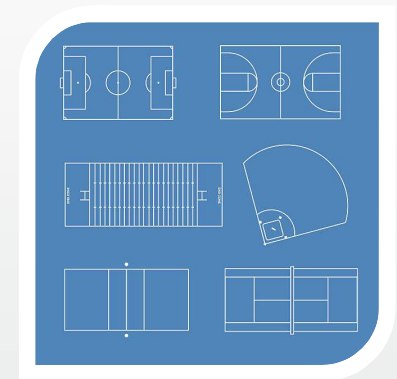
- 1, 現状把握(危険箇所や改善事項等)
- 2, 施設関係者に問題定義と解決案提案  
(実例等を交え紹介)
- 3, 専門家や保護者や親族のサポーター確保
- 4, 資金調達の目標設定(計画)  
(リニューアル構想、専門会社への見積等)
- 5, クラウドファンディングの選定
- 6, プロジェクト公開  
魅力的なプロジェクトページ作成
- 7, 広報(SNS等)
- 8, 支援者への報告等
- 9, 活動の継続(周辺環境の改善等)  
支援者や地域住民と協力し、より良い状態に  
保つことで、地域スポーツの発展に貢献

実施者の主体的な行動力や熱量・情熱が  
不可欠!

## 7つの習慣: Win-Win or No Deal

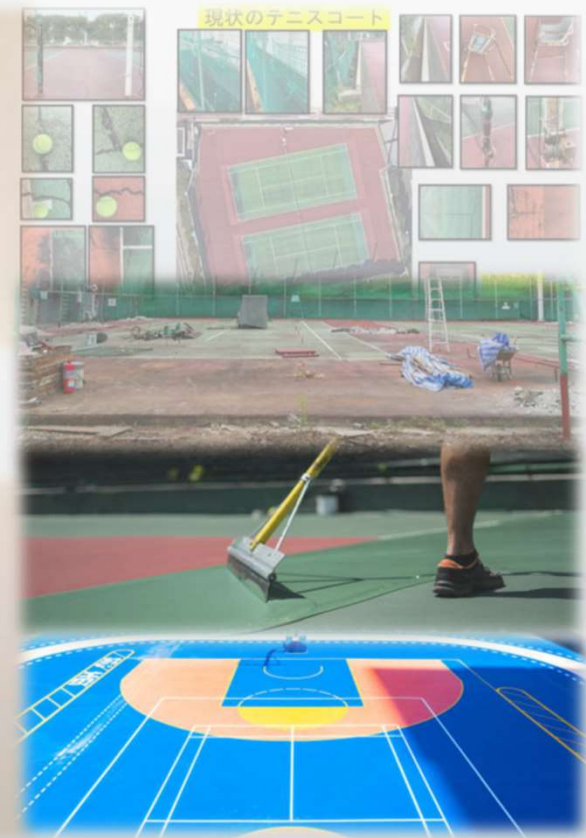
### 【公立学校のテニスコートをクラブファンでリニューアル】

- プロジェクトの**目的**(何をやっているのか)
  - ➔ 社会課題解決を通じた**人材開発(学生)**
- このプロジェクトを何故やるのか
  - ➔ 目的達成させるために必要な思考力、情報発信力、行動力等を醸成させるため
- どうやって実現するのか
  - ➔ 上流課程の整理(資産等に係る制度確認等)  
教育課程における自主的主体的な教育(全国のクラブファン活用におけるアントレプレナーシップ教育) の状況確認(私立と公立)

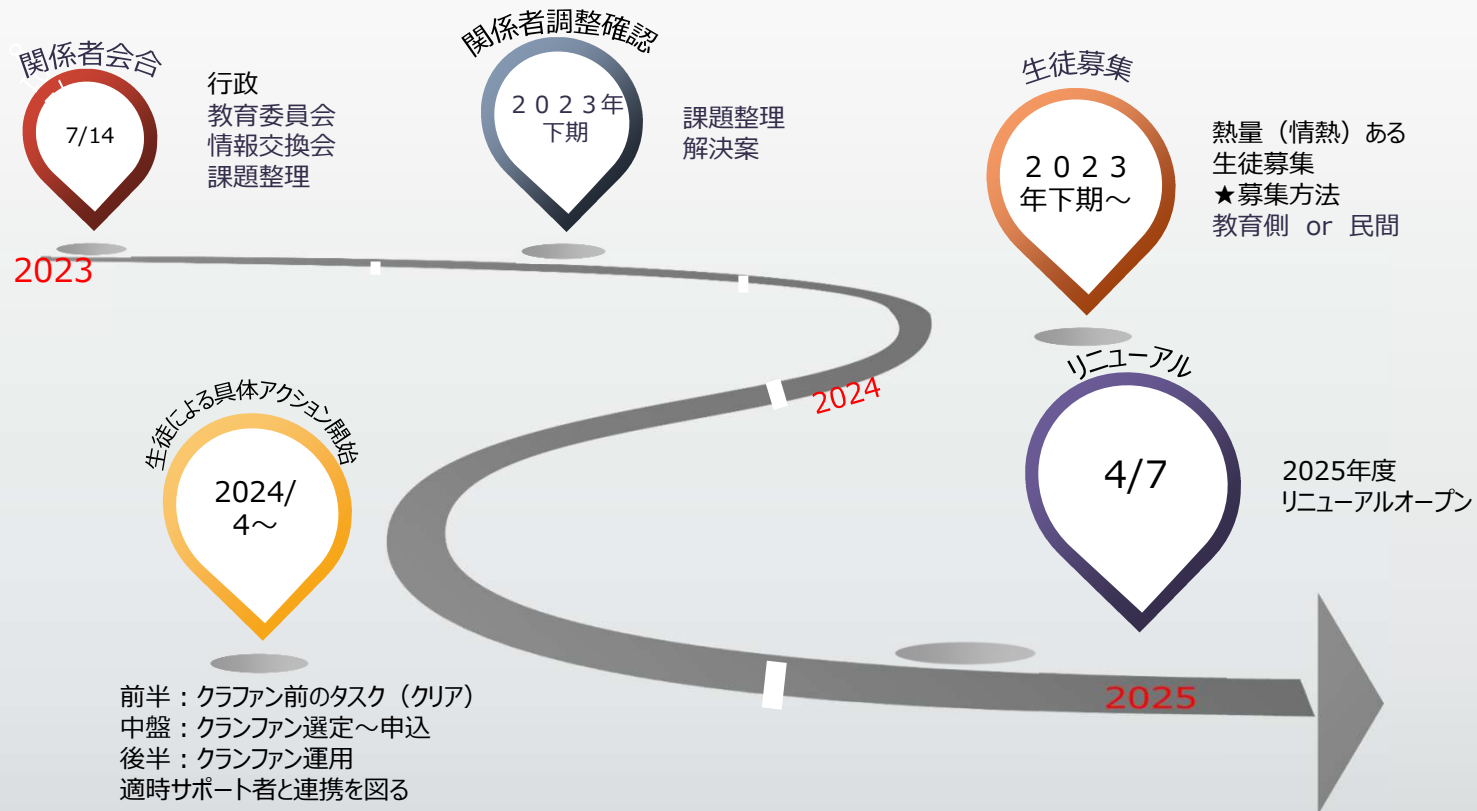


# 成果物

- オールウェザーコート
- 社会課題解決型人材輩出(アントレプレナーシップ)



# プロジェクトスケジュール(案)

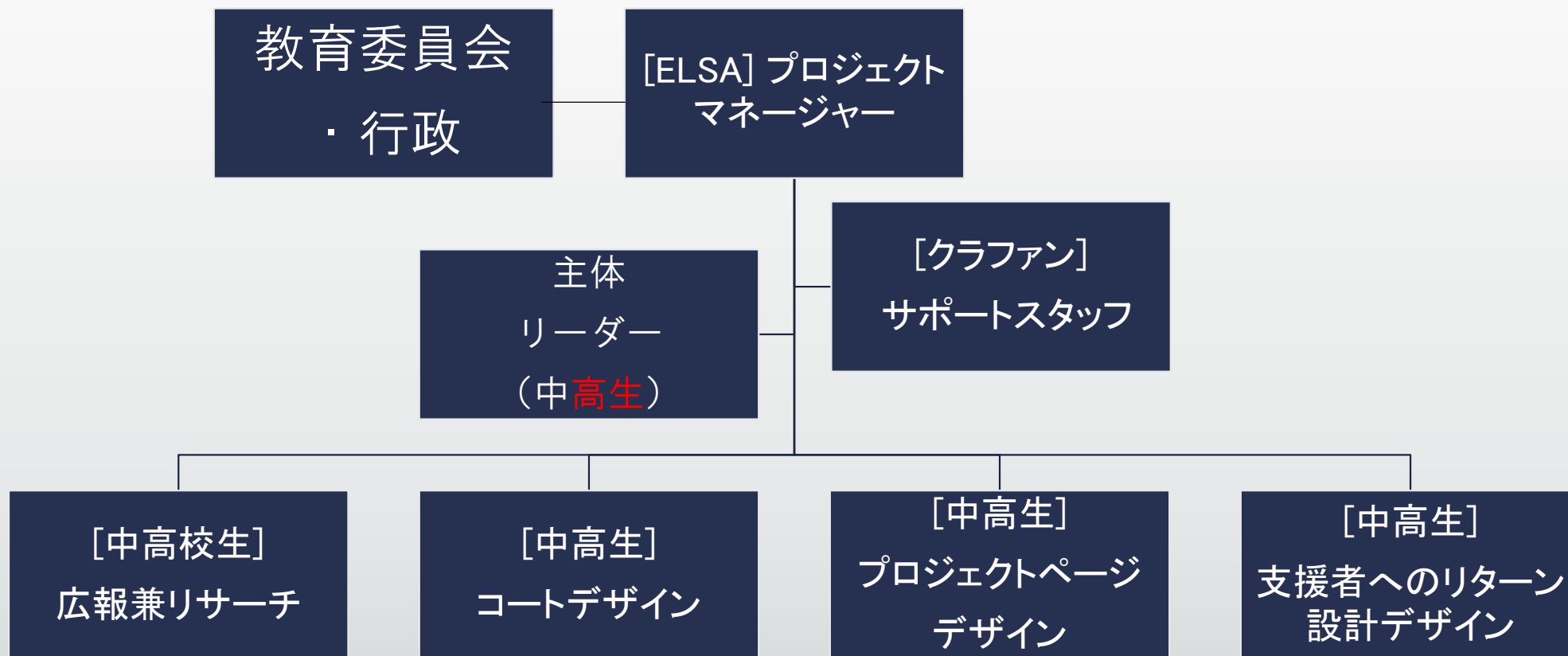


# 成功要因(想定)

- プロジェクトの成功の鍵となる要素
  - 自主的主体性のある情熱と熱量ある学生(の確保)
  - マーケティング戦略からのターゲット層(学生)
    - 世界を目指すジュニア選手へのアプローチ
    - テニススクールに通ってるジュニア選手
    - 中学校・高校等のテニス部所属生徒
    - アントレプレナーシップに興味のある学生
  - 適切なサポート
- このプロジェクトの対象外分野
  - ➡設計業務、施工会社決定(一般競争入札)、施工監理などに係る業務
  - 資産管理などに係る一切の業務
  - ➡アントレプレナーシップ教育(要相談)
    - 既に学校教育課程で実施済の生徒がいれば尚良し



# プロジェクト チームの体制図(案)



## リスク管理計画

リスク	確率	影響	関係者	備考等
プロジェクトマネージャーが何かしらの事由でサポート困難となった場合	低	高	プロジェクトマネージャー 全員	代替組織等を検討 有償で請け負える組織 費用負担
社会情勢の大幅な変化によるプロジェクト継続が困難となった場合	低	高	全員	天災や戦争などによるもの
学生が途中で投げ出す場合	高	高	全員	プロジェクトは基本的に中止 (延期) 次回プロジェクトへの課題整理 改善事項とする



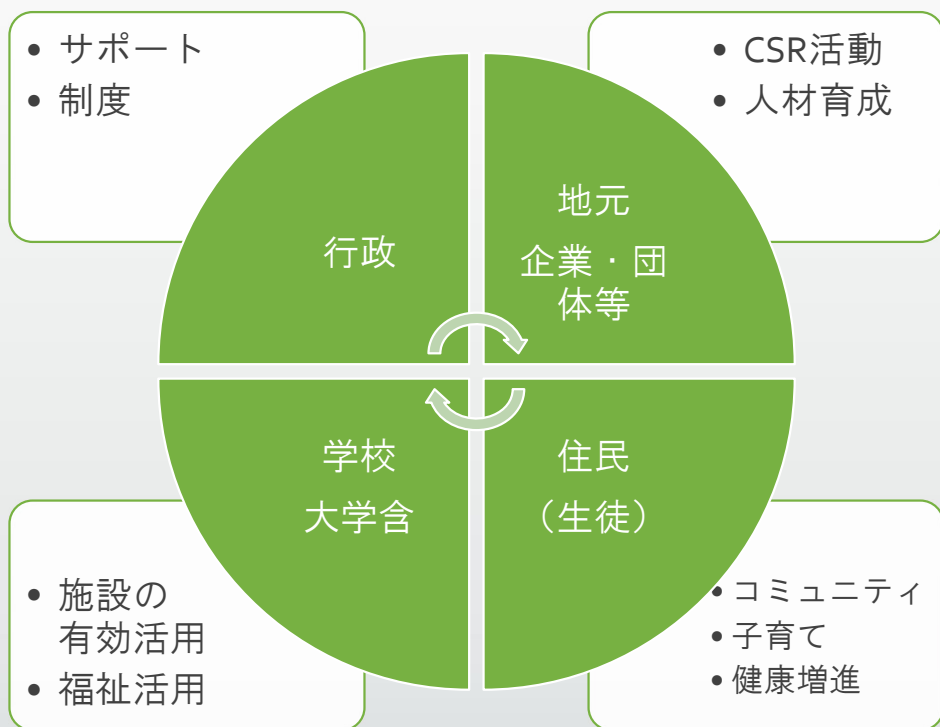
# 品質管理とパフォーマンス評価

- 品質管理プラン
  - ➡ 工事品質管理などは教育委員会
- コスト管理とDesign評価について
  - ➡ 学生がDesignし当方や教育委員会が監修したものを基に、専門会社へ見積依頼を行い、教育委員会で通常行っている修繕予算・執行・現場管理等を行う
  - ➡ クラファン募集金額達成: 全額クラファン費用で充当(手数料控除)  
同 未達: 延期 (中止)
    - ➡ 代替案) 教育委員会側で予算補填
- パフォーマンス評価
  - ➡ 生徒自身の振返りとサポート(関係者: 当方、クラファン会社、学校等)からのフィードバック
  - ➡ 報道機関や行政側からのフィードバック

## 協議調整事項等

- クラファン活用の是々非々
- クラファン実施主体者(学生、市、教育委員会、PTAなど)
- 仮)生徒募集方法
- アントレプレナーシップ教育実施者及びクラファン運用サポートメンバー  
(クラファン運用サポートは教職員の副業規定違反を想定)
- リニューアル後の当該校と近隣学校への説明等(教育委員会で担う想定)
- クラファン募集金額未達時
  - ➡中止 (未達時は中止が望ましい)
  - ➡予め定めた予算割合で教育委員会(行政)で補填(考え方を協議)
    - ・機能回復相当額分は本来負担とすることが適切であるが、  
今回の場合は逆に、付加価値相当分の負担という考えもある。或いはその他考え方。

# 地域に集う人達の共想



**学校と地域、民間、行政が  
共想し未来を創り上げる**



# 持続可能な社会の発展

未来の姿  
3年後の横浜



未来

子育てがよりしやすい

街づくり・人創り



スポーツを通じた

地域コミュニティ

活性化



施設の有効活用

ハブ施設（学校）毎

に特色を出し

Innovationを創発

# スポーツだけではない 文明開化の港町

×

## 産学連携インキュベーションセンター (関内地区)

様々なモノ・アイデア・  
人などがクロスするYOKOHAMA

人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち

### ○成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり

#### ■山下ふ頭用地の造成等

ー用地の造成、市民意見・事業提案募集、  
新たな事業計画の策定に向けた検討 **NEW**

#### ■エキサイトよこはま22の推進

ーステーションオアシス地区等の横浜駅周辺民間  
開発の推進、東口駅前開発・基盤整備の検討

#### ■関内・関外地区の活性化推進

ー横浜文化体育館の再整備(令和6年4月供用開始)



<横浜文化体育館完成イメージ>

2029年  
開業予定

2026年  
開業予定



関内駅前港町地区

旧市庁舎街区

風の時代のNew reader

×

歴史が融合し躍進する街

あうたびに、あたらしい  
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



22

## 参考文献等

- [学校体育施設の有効活用に関する手引き](#) スポーツ庁
- [学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議](#) 国立研究開発法人
- [令和4年度予算案について\(横浜市\)](#)
- [令和2元3月\\_テニス環境等実態調査報告書\(公益財団法人日本テニス協会\)](#)
- [第3期:横浜市スポーツ推進計画](#)

# Thank you

- ELSA
- Presenter yoshitoku Iwasaki
- [z-academy@outlook.jp](mailto:z-academy@outlook.jp)

## テニスコート概要基本情報

テニスコート

約40m×35m+@ → 約1,450㎡

植栽エリア

約85m×0.6m → 約51㎡

給排水

散水栓盛替か所： → 3か所

排水溝 → コート外周

同縁石盛替え → 約85m

施工年度 → 1987年2月（落成式典）

※一般的なテニスコートの耐用年数10～15年

詳細は図面等で確認

※超概算（施工仕様による）

材料費：5,000～8,000円/㎡（MAX15,000円/㎡）

材工込：15,000,000～20,000,000円

※リニューアル候補会社（参考）

東京ウエルネス、日本体育施設、長谷川体育施設、

アオヤマスポーツ、コウフ・フィールド、東和スポーツ、日本プロテニスエンタープライズ、日本フィールドシステム など

